



東リ株式会社
証券コード:7971



明日の地球を思うこと

TOLI REPORT

株主・投資家のみなさまへ

第150期 第2四半期累計期間のご報告

(2013年4月1日～2013年9月30日)

ひとつの空間について考えることは、 そこに集まる人や、自然環境について考えること。

快適で感性豊かな空間を提案するトータルインテリアメーカーとして、東リがお届けするのは、「365日のビューティフル」。人を包みこむ空間・自然・社会を見据えた、大きな視野でインテリアを考えています。



東リコーポレートシンボル「365日のビューティフル」
やわらかな曲線でTの字を型どったフォルムは、無限の可能性に挑戦する東リの姿勢を。美しく鮮やかなカラーは、毎日の生活を自由に描く豊かな感性を。浮かび上がるTOLIの文字は、確かな技術力と国際性を表現しています。

Q. 当社グループの経営の基本方針は？

A.

当社グループは、経営理念として〈インテリア事業を通じて生活文化の向上に貢献する〉〈顧客中心主義を行動規範とする〉〈トータルインテリアのリーディングカンパニーを目指す〉の3つを掲げ、事業活動を行っております。「すべてはお客様のために」を行動指針とし、住宅やオフィス、学校、医療・福祉施設、商業施設など、あらゆる住・生活空間に豊かさをご提供するものづくりやサービスに努めることで、企業価値の向上に取り組んでおります。

また、法令を遵守することはもちろん、地球環境保全にも配慮するなど社会に対する責任を果たすべく、良識ある健全な企業活動に徹し、世の中から信頼され期待される企業グループを目指しております。

Q. 中長期的な経営戦略は？

A.

当社グループは、中期経営計画「改革・成長 2014」において、以下の2つを重点戦略としております。

1. 構造改革による事業基盤の強化

当社グループの中核を成す塩ビ床材事業、カーペット事業の構造改革を進めるとともに、グローバル化への対応、並びに、品質、機能、デザイン面での市場競争力強化に努めております。また、地球環境の保護に寄与する取り組みに注力し、インテリア業界をリードする役割を果たしてまいります。

2. 成長領域の攻略

アジアをはじめとする海外での事業拡大に力を注ぐとともに、国内のインテリアリフォーム市場や物販チャネルの攻略に取り組んでおります。また、技術開発力の強化による既存分野周辺領域への事業拡大に努めております。

最終年度(2014年度)の連結経営指標は、売上高900億円、経常利益25億円、ROA(総資産経常利益率)4%以上としております。

株主・投資家のみなさまへ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび第150期上半期(2013年4月1日～2013年9月30日)を終了いたしましたので、当社グループの事業の概況および決算の状況などをご報告申し上げます。



代表取締役社長

永嶋元博

Q.当社グループの営業概況は？

A.

当第2四半期におけるわが国経済は、設備投資や個人消費の持ち直しに加え、デフレが緩やかに改善するなど、景気回復に向けた動きが強まりました。インテリア業界におきましては、建築着工の回復基調が続き内装材需要は底堅く推移した一方、原材料価格やエネルギーコストが上昇したため、利益面では厳しい経営環境となりました。

こうしたなか、当社グループは中期経営計画「改革・成長 2014」に基づき、独自性のある製品開発と積極的な提案営業を通じた需要の創出や事業収益性の改善に努めた結果、当第2四半期における売上高は40,436百万円(前年同期比2.1%増)、営業利益は227百万円(前年同期比27.8%減)、経常利益は282百万円(前年同期比12.5%減)、四半期純利益は128百万円(前年同期比82.4%増)となりました。

当期の中間配当につきましては、当社グループの事業環境を鑑み、見送ることとさせていただきます。

株主のみなさまにおかれましては、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

Q.対処すべき課題は？

A.

当社グループは、業界を牽引する企業グループとして、その社会的使命を認識し、事業活動を通じてお客様に快適なライフスタイルをご提案してまいります。中期経営計画を推進し、原油価格の高騰や為替の変動に伴う主要原材料コストの上昇や競争の激化など不透明な経営環境課題を乗り越え、さらに強靱な事業基盤の確立と、成長の加速に取り組んでまいります。

また、「環境保全」や「安全品質」への取り組みは最優先課題の一つであると認識しております。限りある資源を有効に活用しながら、人と地球にやさしい商品の研究開発に努めてまいります。

当社グループは、会計などあらゆる業務の適正確保も重要な経営課題と認識しております。内部統制報告制度に対応した内部統制評価管理体制の構築・運用により、企業経営のより一層の効率化・明瞭化とガバナンス体制の強化に取り組んでまいります。

株主・投資家のみなさまにおかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

業績推移

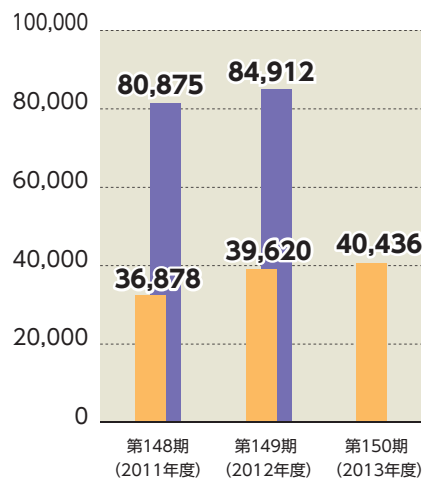
(単位:百万円)

連 結	第148期(2011年度)		第149期(2012年度)		第150期(2013年度)
	第2四半期 連結累計期間	通 期	第2四半期 連結累計期間	通 期	第2四半期 連結累計期間
売上高	36,878	80,875	39,620	84,912	40,436
経常利益	△473	1,037	322	1,923	282
四半期(当期)純利益	△344	283	70	1,038	128
1株当たり四半期(当期)純利益(円)	△5.54	4.55	1.13	16.70	2.07
総資産	60,223	65,373	63,102	66,947	63,206
純資産	23,714	24,509	24,116	25,575	25,666

売上高

(単位:百万円)

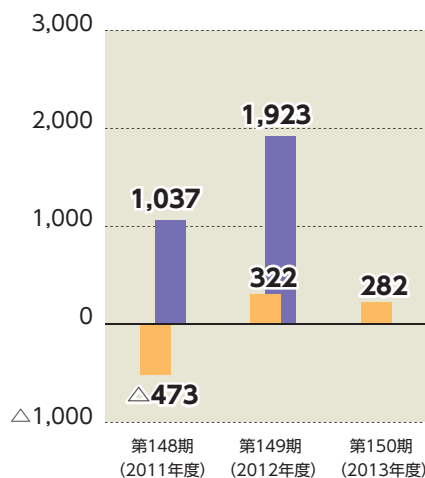
■ 第2四半期累計 ■ 通期



経常利益

(単位:百万円)

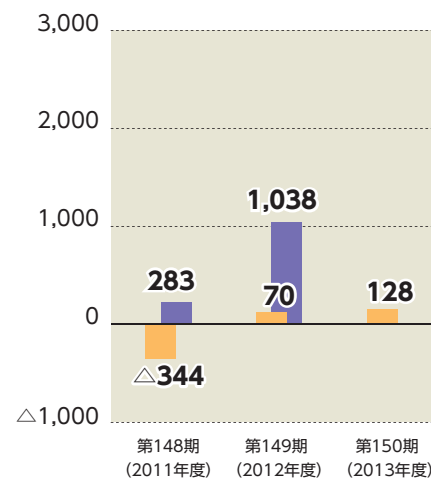
■ 第2四半期累計 ■ 通期



四半期(当期)純利益

(単位:百万円)

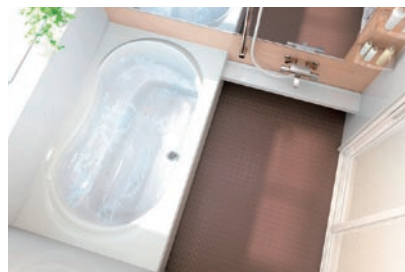
■ 第2四半期累計 ■ 通期



事業別案内

プロダクト事業

塩ビ床材では、医療・福祉施設向けのビニル床シート「ホスピリウムNW」が売上を伸ばしたほか、耐久性に優れたビニル床シート「ノンワックスリウム シリーズ」や、浴室用ビニル床シート「バスナ シリーズ」が堅調に推移しました。カーペットでは、高級グレードでデザイン性に優れたプリントタイルカーペット「エクスクローム シリーズ」や、住宅向けタイルカーペット「ファブリックフロア」の売上が増加しました。結果といたしまして、プロダクト事業の売上高は24,673百万円(前年同期比1.5%増)、セグメント利益は96百万円(前年同期比219.9%増)となりました。



バスナ シリーズ



ファブリックフロア

インテリア卸及び工事事業

販売子会社においては、ブラインド等のインテリア金物や建材・設備の仕入売上が増加したほか、工事売上が好調に推移しました。しかしながら、工事の利益率が前年同期に比べ低下したことなどから、インテリア卸及び工事事業の売上高は26,448百万円(前年同期比0.2%増)、セグメント利益は261百万円(前年同期比22.8%減)となりました。

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プロダクト事業	インテリア卸及び 工事事業	計		
第149期第2四半期連結累計期間売上高					
外部顧客への売上高	13,409	26,211	39,620	—	39,620
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,887	195	11,083	△11,083	—
計	24,297	26,406	50,703	△11,083	39,620
第150期第2四半期連結累計期間売上高					
外部顧客への売上高	14,171	26,264	40,436	—	40,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	10,501	183	10,685	△10,685	—
計	24,673	26,448	51,121	△10,685	40,436

連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

資産の部

(単位:百万円)

科 目	第149期	第150期
	(2013年3月31日現在)	第2四半期 連結会計期間 (2013年9月30日現在)
流動資産	43,424	39,323
現金及び預金	5,565	6,405
受取手形及び売掛金	26,134	21,179
有価証券	715	716
たな卸資産	9,878	9,567
繰延税金資産	491	532
その他	992	1,266
貸倒引当金	△ 353	△ 345
固定資産	23,523	23,883
有形固定資産	15,841	15,799
建物及び構築物	4,985	4,883
機械装置及び運搬具	1,717	1,736
土地	8,625	8,625
その他	514	553
無形固定資産	582	548
投資その他の資産	7,098	7,536
投資有価証券	3,746	4,185
長期貸付金	146	144
繰延税金資産	1,077	878
その他	2,459	2,646
貸倒引当金	△ 331	△ 318
資産合計	66,947	63,206

負債の部

(単位:百万円)

科 目	第149期	第150期
	(2013年3月31日現在)	第2四半期 連結会計期間 (2013年9月30日現在)
流動負債	28,439	23,723
支払手形及び買掛金	22,680	19,522
短期借入金	1,610	611
その他	4,149	3,589
固定負債	12,932	13,816
長期借入金	6,610	7,410
退職給付引当金	4,002	4,004
その他	2,319	2,402
負債合計	41,372	37,540

純資産の部

(単位:百万円)

科 目	第149期	第150期
	(2013年3月31日現在)	第2四半期 連結会計期間 (2013年9月30日現在)
株主資本	24,699	24,516
資本金	6,855	6,855
資本剰余金	6,423	6,423
利益剰余金	12,437	12,255
自己株式	△ 1,017	△ 1,017
その他の包括利益累計額	670	939
その他有価証券評価差額金	670	939
少数株主持分	205	210
純資産合計	25,575	25,666
負債及び純資産合計	66,947	63,206

ポイント1

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前期末に比べ3,741百万円減少し、63,206百万円となりました。

流動資産は、季節変動に伴う売上債権の減少等により、前期末に比べ4,101百万円減少し、39,323百万円となりました。

固定資産は、株式の時価の上昇による投資有価証券の増加等により、前期末に比べ360百万円増加し、23,883百万円となりました。

ポイント2

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、仕入債務の減少等により、前期末に比べ3,831百万円減少し、37,540百万円となりました。

ポイント3

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、配当金の支払い等による利益剰余金の減少があったものの、株式の時価の上昇によるその他有価証券評価差額金の増加等により、前期末に比べ90百万円増加し、25,666百万円となりました。

この結果、自己資本比率は40.3%となりました。

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第149期 第2四半期 連結累計期間 (2012年4月1日~2012年9月30日)	第150期 第2四半期 連結累計期間 (2013年4月1日~2013年9月30日)
	売上高	39,620
売上原価	28,933	29,820
売上総利益	10,686	10,615
販売費及び一般管理費	10,371	10,388
営業利益	314	227
営業外収益	190	206
営業外費用	182	151
経常利益	322	282
特別利益	-	-
特別損失	148	7
税金等調整前四半期純利益	174	275
法人税、住民税及び事業税	196	132
法人税等調整額	△ 97	8
少数株主損益調整前四半期純利益	75	134
少数株主利益	5	5
四半期純利益	70	128

ポイント 4

当第2四半期連結累計期間におけるインテリア業界は、建築着工の回復基調が続き内装材需要が底堅く推移し、売上高は40,436百万円(前年同期比2.1%増)となりました。一方、原材料価格やエネルギーコストが上昇したため、利益面では厳しい経営環境となり、営業利益は227百万円(前年同期比27.8%減)、経常利益は282百万円(前年同期比12.5%減)、四半期純利益は128百万円(前年同期比82.4%増)となりました。

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	第149期 第2四半期 連結累計期間 (2012年4月1日~2012年9月30日)	第150期 第2四半期 連結累計期間 (2013年4月1日~2013年9月30日)
	営業活動によるキャッシュ・フロー	1,945
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 151	△ 568
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 579	△ 799
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 8	2
現金及び現金同等物の増減額	1,206	840
現金及び現金同等物の期首残高	5,972	6,218
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,178	7,059

ポイント 5

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ840百万円増加し、7,059百万円となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

商品販売やサービス提供など本来の事業によって、どれだけの資金を獲得したかを表しています。営業活動によるキャッシュ・フローは、2,205百万円の収入(前年同期1,945百万円の収入)となりました。たな卸資産が減少に転じたこと等により、前年同期に比べ収入が増加しました。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

将来の利益獲得、資金運用のためにどれだけの資金を支出し、または回収したかを表しています。投資活動によるキャッシュ・フローは、568百万円の支出(前年同期151百万円の支出)となりました。投資有価証券の償還による収入の減少等により、前年同期に比べ支出が増加しました。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動と投資活動を維持するために、どの程度の資金が調達・返済されたかを表しています。財務活動によるキャッシュ・フローは、799百万円の支出(前年同期579百万円の支出)となりました。長期借入金の減少額の増加等により、前年同期に比べ支出が増加しました。

納入実績

エリア	物件名
北海道	札幌国際大学 新2号館
北海道	北海道大学病院 外来新棟
福島県	南東北新生病院 新棟
新潟県	新潟市水族館 マリンピア日本海
東京都	アークヒルズ サウスタワー
東京都	東京大学工学部 新3号館
岐阜県	トヨタ自動車株式会社 多治見サービスセンター
静岡県	MARK IS 静岡 (マークイズ静岡)
大阪府	特別養護老人ホーム るうてるホーム
兵庫県	北播磨総合医療センター
広島県	広島ワシントンホテル
愛媛県	今治市公会堂
福岡県	桜十字福岡病院
福岡県	国家公務員共済組合連合会 浜の町病院

納入物件

石川県 ANAクラウンプラザホテル金沢

(カーペット特注品)



群馬県 医療法人社団 三思会 東邦病院
新病棟 腎センター

(GA-2100・ロイヤルストーン他)



トピックス

【「リアルデコ」シリーズ新発売】

空間設計の幅がさらに広がるバリエーションに進化しました。

東リ「リアルデコ」は、つや消しの上品な質感と素材のリアルな表情を再現した不燃化粧仕上げ材で、2005年の発売以来、商業施設や医療・福祉施設などを中心に数多く採用され、高い評価をいただいております。今回発売となりました「リアルデコ」シリーズは、壁紙の「リアルデコ」をはじめ、三次曲面や、より耐久性が求められる部位に最適な塩ビ粘着剤付き化粧フィルム「ハーデック」を同柄同色で新たに加え、より統一感のあるコーディネート空間を可能とした商品です。さらに同柄同色の木目調プリントタイル「ロイヤルウッド」や専用巾木・コーナー材を含め、これまでにない東リならではの高意匠、高品質な空間設計を可能としました。

【製品概要】

【リアルデコ Vol.4】

価 格：2,830円/㎡(材料価格、税抜き価格)
規 格：巾92cm×長さ50m(乱)
防 火 性 能：不燃NM-1431
(不燃下地、不燃石膏ボード、金属下地)

アイテム数：60柄100点
発 売 日：2013年8月7日

【ハーデック】

価 格：5,900円/㎡(材料価格、税抜き価格)
規 格：巾122cm×長さ50m(乱)
防 火 性 能：不燃NM-0765
(不燃下地、不燃石膏ボード、金属下地)

アイテム数：8柄16点
発 売 日：2013年8月7日



リアルデコとハーデックに、ロイヤルウッド(床材)も加えた
スーパーコラボレーション
(リアルデコ:WRW4107/ハーデック:DEC4107/ロイヤルウッド:PWT540)

会社情報

当社の概要

(2013年9月30日現在)

創立	1919年(大正8年)12月1日
資本金	6,855百万円
従業員数	773名
主な事業内容	塩ビタイル、塩ビシート、カーペット、カーテン、壁装材、接着剤等の製造販売

本社および事業所

(2013年9月30日現在)

本社	兵庫県伊丹市東有岡5-125
東京本部	東京都港区東新橋2-10-4
工場	伊丹、厚木
ショールーム	札幌、東京、名古屋、大阪、岡山、高松
営業所	札幌、仙台、盛岡、郡山、新潟、長野、東京、大宮、千葉、水戸、八王子、横浜、名古屋、静岡、金沢、大阪、京都、神戸、岡山、広島、高松、松山、福岡、北九州、鹿児島

役員

(2013年9月30日現在)

〈取締役・監査役〉	代表取締役会長	柏原 賢二
	代表取締役社長	永嶋 元博
	常務取締役	大谷 正男*1
	取締役	鈴木 潤*1
	取締役	松本 渉*1
	常勤監査役	吉森 忠重
	常勤監査役	浪花 芳法
	監査役	堀村 不器雄*2
	監査役	春名 一典*2

(注)*1印を付した3氏は、取締役と執行役員の兼務者であります。
*2印を付した両氏は、社外監査役であります。

〈執行役員〉

執行役員	小谷 良道
執行役員	安嶋 二郎
執行役員	江辺 晴信
執行役員	富田 芳朗
執行役員	天野 宏文
執行役員	村山 としき
執行役員	徳島 裕恭

株式の状況

(2013年9月30日現在)

株式数および株主数

・発行可能株式総数	141,603千株
・発行済株式総数	66,829千株
・株主数	5,872名
・1人当たりの平均持株数	11,381株

株式分布状況

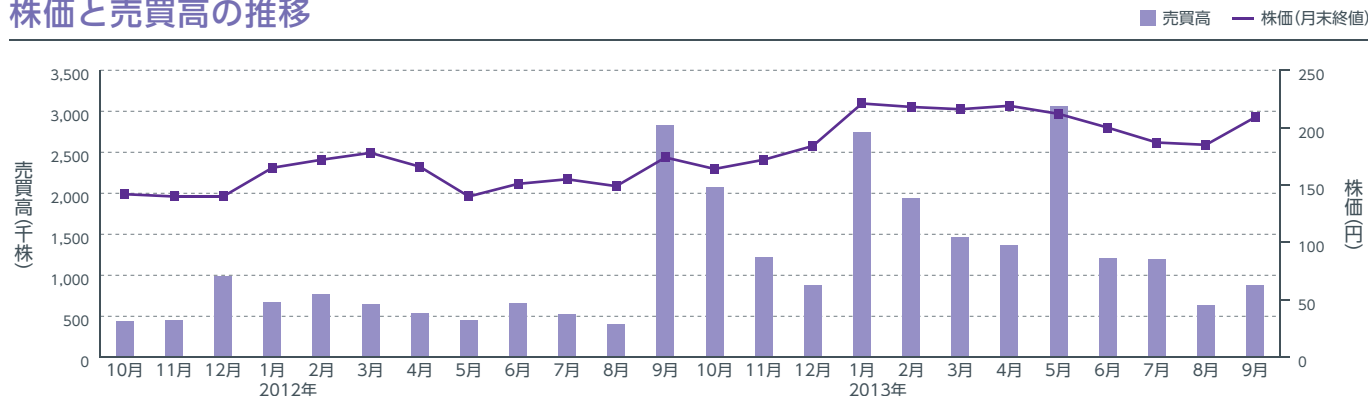
・金融機関	18,599千株 (27.8%)
・金融商品取引業者	551千株 (0.8%)
・その他の法人	20,147千株 (30.1%)
・外国法人等	3,602千株 (5.3%)
・個人・その他	19,312千株 (28.9%)
・自己株式	4,615千株 (6.9%)

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本生命保険相互会社	4,478	7.1
株式会社トクヤマ	2,780	4.4
双日株式会社	2,532	4.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,777	2.8
三信株式会社	1,730	2.7
東親会持株会	1,497	2.4
帝人株式会社	1,489	2.3
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,485	2.3
東リ社員持株会	1,277	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,238	1.9

*当社は、自己株式(4,615千株)を保有しておりますが、上表からは除いております。
*持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

株価と売買高の推移



株主メモ

決算期…………… 3月31日

定時株主総会…………… 6月

基準日…………… 定時株主総会 3月31日
 期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日

単元株式数…………… 1,000株

株主名簿管理人及び…… 三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の口座管理機関 〒100-0005東京都千代田区丸の内一丁目4番5号

株主名簿管理人…………… 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 事務取扱場所 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 (お問い合わせ先) 0120-094-777 (通話料無料)

公告の方法 電子公告の方法により、下記の東リホームページに掲載します。
 但し、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、
 日本経済新聞に掲載します。

ホームページアドレス <http://www.toli.co.jp>

(ご注意)

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

【お知らせ】

●株主関係の手続きのご請求は、次の三菱UFJ信託銀行株式会社のフリーダイヤルおよびインターネットでも24時間承っております。

- ・電話(通話料無料) 0120-244-479(本店証券代行部)
0120-684-479(大阪証券代行部)
- ・ホームページアドレス <http://www.tr.mufig.jp/>

※本誌に関する注意事項

本誌に記載されている当社グループの計画・戦略・見通しのうち、歴史的事実でないものは将来の業績に関する見通しです。これらは、現時点で入手可能な情報に基づいた当社グループの仮定および判断によるものであり、実際の業績等は、さまざまな要因により、これらの見通しと異なる可能性があります。

攻めるエコ。



東リ株式会社

<http://www.toli.co.jp>

当社は、インターネット上にホームページを開設し、会社情報、商品紹介、レポートやニュースをご案内しております。

UD FONT
by MORISAWA

